

黒大豆安定生産技術に関する農業セミナーを開催

農総研では、近中四農研、京都大学、近畿の関係府県等と共同で、京都府の特産である丹波黒大豆の安定生産技術を確立するためのかん水技術に関する研究を進めています。本研究の成果をいち早く現場の技術者や農家に伝えるため、共同研究機関である京都大学の協力を得て、農業セミナー「夏～秋のかん水で黒大豆収量は安定する」を2月16日にJA京都丹波支店において開催しました。農家を中心に100人を超える参加者があり、3課題の報告の後、「かん水と立ち枯れ症との関係は?」、「20年産黒大豆でしわ粒が多かったのはどうしてか?」等の質問があり、活発な意見交換が行われました。



かん水適期診断法のマニュアルやアンケート結果等について報告

農業総合研究所